



# 異なる HXDP バージョンで動作するクラスタの管理

---

- 異なる HXDP バージョンで動作するクラスタの管理 (1 ページ)
- シナリオ—HXDP 3.0 でサイト A および HXDP 2.6 でサイト B (1 ページ)
- シナリオ: HXDP 2.6 のサイト A および HXDP 3.0 のサイト B (3 ページ)
- 機能の制限 (5 ページ)

## 異なる HXDP バージョンで動作するクラスタの管理

### シナリオ—HXDP 3.0 でサイト A および HXDP 2.6 でサイト B

次の用語および略称が使用されます。

- サイト A —ソース クラスタ
- サイト B —ターゲット クラスタ
- **dr\_cleanup** ツール —Cisco TAC に連絡し、3.0 内部サポート パッケージで利用可能なこのツールを入手します。

#### 前提条件

- アップグレードの前に、[回復済み] または [中止] 状態の VM またはグループがないことを確認します。
- VM が [中止] 状態の場合、VM またはグループをリカバリおよび保護を解除します。
- VM が [回復済み] 状態の場合、VM またはグループの保護を解除します。

ステップ	サイト A	サイト B	結果
1.	HXDP バージョン 2.6 または以降。	HXDP バージョン 2.6 または以降。	—
2.	HXDP 3.0 へアップグ レードします。	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 進行中のレプリケーションが続行されます。</li> <li>• VM の計画済みの移行がサポートされていません。</li> <li>• 詳細については、<a href="#">機能の制限 (5 ページ)</a> を参照してください。</li> </ul>
3.	サイト B をアップグ レードする前に、サイ ト A で障害が発生した 場合。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コマンドを実行し ます。 <i># stcli dp peer forget</i></li> <li>2. 必要な VM を回復 します。</li> <li>3. <b>dr_cleanup</b> ツール を実行して、ディ ザスタリカバリ データベースから すべての VM 情報 を削除します。</li> </ol>	ワークロードは現在サ イト B で実行されてい ます。
4.	サイト A を復元しま す。  サイト A を復元したら 以下を行います。  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コマンドを実行し ます。 <i># stcli dp peer forget</i></li> <li>2. <b>Dr_cleanup</b> ツー ルを実行して、 ディザスタリカバ リデータベースか らすべての VM 情 報を削除します。</li> </ol>	—	サイトがペアリングさ れていません。

ステップ	サイト A	サイト B	結果
5.	—	HXDP 3.0 へアップグレードします。	—
6.	サイトをペアリングします。	—	サイト A とサイト B が再度ペアリング可能になり、ワークロードを保護することができます。

## シナリオ: HXDP 2.6 のサイト A および HXDP 3.0 のサイト B

次の用語および略称が使用されます。

- **サイト A** —ソース クラスタ
- **サイト B** —ターゲット クラスタ
- **dr\_cleanup ツール** —Cisco TAC に連絡し、3.0 内部サポート パッケージで利用可能なこのツールを入手します。

### 前提条件

- アップグレードの前に、[回復済み] または [中止] 状態の VM またはグループがないことを確認します。
- VM が [中止] 状態の場合、VM またはグループをリカバリおよび保護を解除します。
- VM が [回復済み] 状態の場合、VM またはグループの保護を解除します。

ステップ	サイト A	サイト B	結果
1.	HXDP バージョン 2.6 または以降。	HXDP バージョン 2.6 または以降。	—

ステップ	サイト A	サイト B	結果
2.	—	HXDP 3.0 へアップグレードします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 進行中のレプリケーションが継続されます。</li> <li>• VM の計画済みの移行がサポートされていません。</li> <li>• 詳細については、<a href="#">機能の制限 (5 ページ)</a> を参照してください。</li> </ul>
3.	サイト A をアップグレードする前に、サイト A で障害が発生した場合。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コマンドを実行します。 <i># stcli dp peer forget</i></li> <li>2. 必要な VM を回復します。</li> <li>3. <b>dr_cleanup</b> ツールを実行して、ディザスタリカバリデータベースからすべての VM 情報を削除します。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• すべてのリカバリオプションを使用できるわけではありません。</li> <li>• 詳細については、<a href="#">機能の制限 (5 ページ)</a> を参照してください。</li> <li>• ワークロードは現在サイト B で実行されています。</li> </ul>
4.	<p>サイト A を復元します。</p> <p>サイト A を復元したら以下を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コマンドを実行します。 <i># stcli dp peer forget</i></li> <li>2. <b>Dr_cleanup</b> ツールを実行して、ディザスタリカバリデータベースからすべての VM 情報を削除します。</li> </ol>	—	サイトがペアリングされていません。

ステップ	サイト A	サイト B	結果
5.	サイト A を HXDP 3.0 にアップグレードします。	—	—
6.	—	サイトをペアリングします。	サイト A とサイト B が再度ペアリング可能になり、ワークロードを保護することができます。

## 機能の制限

リリース 3.0 の新しい機能は、ソースクラスタとターゲットクラスタの両方が同じ HXDP バージョンにある場合にのみサポートされます。ソースとターゲットの両方が同じバージョンであるため、アップグレードの際に時間がかかることがあります。次の機能の制限事項を確認してください。

- ターゲットクラスタが 2.6、ソースクラスタが 3.0 のピアサイトのバージョンが一致していない場合、VM の計画された移行はサポートされません。
- ソースがアップグレードされると、リリース 3.0 の新しい機能 (グループ VM の `movein` や `moveout` など) は、ピアがアップグレードされるまでソースクラスタ上でブロックされません。
- ターゲットクラスタのみがアップグレードされている場合、**HX Connect UI** では、[リカバリ (Recovery)] ダイアログボックスの [ネットワーク マッピング (Network Mapping)] オプションは、ソースクラスタをアップグレードするまで使用できません。

